

総務委員会・

分科会での主なQ&A

9/10 開催
付託議案 4件
請 願 1件

カスタマーハラスメント対策事業について

Q カスタマーハラスメント対応を委託する専門家の選定基準は？

A 委託事業者は、カスタマーハラスメント対応及びSNS対応に関する専門的な知識・経験を有すること、迅速かつ円滑に対応するため、本市の近隣に事務所を有していること、学校問題に関して他自治体での業務実績を有し、自治体の運営・組織に精通していることの三つの条件を満たした専門家の推薦を愛媛弁護士会に依頼し、選定したいと考えている。

Q カスタマーハラスメント事案が発生した際のサポート体制は？

A 職員個人に負担を負わせるのではなく、組織としてカスタマーハラスメントに適切に対応するとの認識の下、電話やウェブ会議による助言を基本とし、文書作成や現地対応など、事案に応じた適切なサポートのほか、24時間対応や休日を含む連絡体制を整備するとともに、報告・相談ルートをマニュアル化し、職員への周知徹底を図りたい。

福祉文教委員会・

分科会での主なQ&A

9/11 開催
付託議案 5件
請 願 2件

小・中学校トイレ洋式化改修事業について

Q 全ての小・中学校がトイレ洋式化の対象となっていない理由は？

A 国や関連学会の基準を参考に整備基準を定め、基準を満たさない小・中学校を優先して緊急的に整備するためである。事業対象外の学校についても、引き続き実状を検証しながら衛生環境改善に努めたい。



洋式化を進める学校トイレ

地域密着型サービス施設等整備事業について

Q 事業者が補助金を活用してICT機器などを整備した後のランニングコストや将来の維持リスクをどのように考えるのか？

A 事業者は、整備後のランニングコストに加え、システムの補修や機器の維持管理が必要となるため、経費負担が増大する懸念はあるものの、市としては、導入効果をしつかりと検証しながら適切に事業を進めたい。

産業建設委員会・

分科会での主なQ&A

9/10 開催
付託議案 4件

地域産業活性化推進事業について

Q スタートアップ都市推進協議会に入会する目的は？

A 同協議会に入会することで、西条産業情報支援センターなどの支援で創業した市内事業者と市外投資家や事業会社との出会いを創出し、民間投資や新たなアイデアを呼び込むことで産業の活性化につなげたい。

市単独道路改良事業について

Q 今回整備する箇所の選定理由及び未着手路線を令和9年度以降の道路網整備計画へ反映する考えは？

A 今年度下半期で工事完成が見込まれる生活道路などで、地域から要望があった未着手路線を選定している。また、新たな道路網整備計画に生活道路などは含まれないため、今後、市民や地域の要望を踏まえて優先順位を整理し、事業に取り組みたい。



市道小松小学校西線の現地調査